

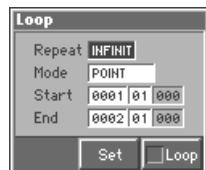
Fantom 追加機能と操作方法の変更

ループ・モードの連動

参照：取扱説明書 P.139、125、130

Loop ウィンドウでループ・モード (POINT、1 MEAS、2 MEAS、4 MEAS、8 MEAS、16 MEAS、SONG ALL) を選択できるようになりました。

新しいLoop ウィンドウ



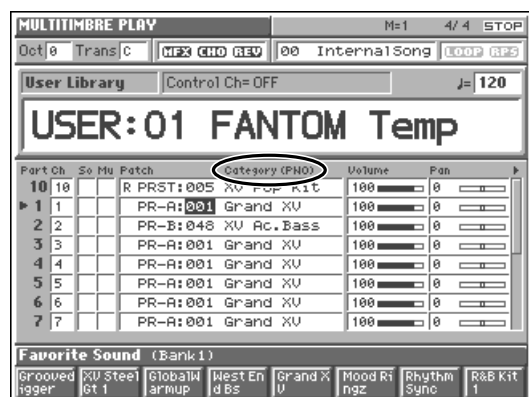
ここでの選択は、ループ・プレイ、ループ・レコーディングのどちらとも相互に連動します。つまり Loop ウィンドウでの設定が、再生時のループ設定、さらに Recording Standby ウィンドウにおける録音時のループ設定にもそのまま適用されます。

また Loop のオン/オフについても、PATCH PLAY、PERFORMANCE PLAY、MULTITIMBRE PLAY の各画面、および Loop、Song Edit、Recording Standby の各ウィンドウでの設定がすべて連動します。

MULTITIMBRE PLAY 画面におけるカテゴリ名表示

参照：取扱説明書 P.106、34

Patch List ウィンドウまたはRhythm List ウィンドウが、カテゴリで分類された表示になっている場合 ([7 (Ctg)] にチェック・マーク (✓) が付いている場合)、MULTITIMBRE PLAY 画面内に、選択したパッチが属するカテゴリ名が表示されます。



MULTITIMBRE PLAY 画面におけるUndo、Redo

参照：取扱説明書 P.109

MULTITIMBRE PLAY 画面において、Patch または Volume 等の設定値を変更した後、それらの値を元に戻したり (Undo)、もう一度設定したり (Redo) できます。

元に戻す場合は、[JUMP] を押しながら [INC] または [DEC] を押します。もう一度設定する場合は、再度 [JUMP] を押しながら [INC] または [DEC] を押します。

パフォーマンスとマルチティンバーの相互コピー

参照：取扱説明書 P.92、113

Performance Copy ウィンドウおよび Multitimbre Copy ウィンドウ内の Mode に「All」が追加されました。このモードを利用すると、ネーム、エフェクト、パートのすべての設定をパフォーマンス、マルチティンバー間でコピーできます。

パフォーマンスとマルチティンバーのイニシャライズ・タイプ追加

参照：取扱説明書 P.91、112

Performance Initialize ウィンドウおよび Multitimbre Initialize ウィンドウ内の Type に「SOUND CONTROL」が追加されました。これにより、指定したパート (Part : All、1 ~ 16) の以下のパラメータを、保存されている値 (Value : STORED) または工場出荷時の値 (Value : DEFAULT) に設定することができます。

Cutoff Offset	Resonance Offset
Attack Time Offset	Release Time Offset
Decay Time Offset	Vibrato Rate
Vibrato Depth	Vibrato Delay



全トラックの一括クオンタイズ

参照：取扱説明書 P.140

Track Edit (Quantize) ウィンドウにおいて、Track (対象トラック) に「All」を指定できるようになりました。

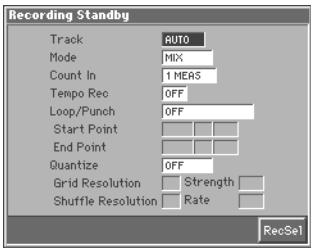
これにより、フレーズ・トラック 1 ~ 16、ビート・トラック、テンポ・トラックのすべてのトラックに対してクオンタイズが行えます。

Recording Standby ウィンドウと録音開始方法の変更

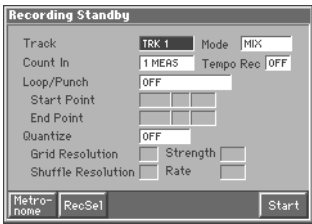
参照：取扱説明書 P.129

Recording Standby ウィンドウにおいて、[1] ~ [8] のボタンに対応する機能が追加、変更されました。

変更前の Recording Standby ウィンドウ

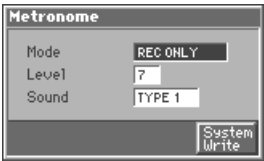


変更後の Recording Standby ウィンドウ



ボタン名	機能
[3 (Metronome)]	Metronome ウィンドウを開く
[4 (RecSel)]	Recording Select ウィンドウを開く
[8 (Start)]	録音を開始する (Realtime Recording ウィンドウが表示される)
[STOP/PLAY]	録音を開始する (Realtime Recording ウィンドウは表示されない)

Metronome ウィンドウでの設定は、System Edit 画面の Sequencer グループでの設定と連動します。



録音状態とリハーサル状態、Realtime Recording ウィンドウの表示と非表示の切替

参照：取扱説明書 P.132 左段「録音中に音色やフレーズを確認する (リハーサル機能)」の操作方法変更

Recording Standby ウィンドウが表示された状態で、[8 (Start)] を押すと録音状態 (Realtime Recording ウィンドウあり) になり、[STOP/PLAY] を押すと録音状態 (Realtime Recording ウィンドウなし) になります。その後、録音状態とリハーサル状態の切り替え、および Realtime Recording ウィンドウの表示 / 非表示の切り替えは次の図のように操作してください。

録音状態 (Realtime Recording ウィンドウあり)



録音状態

リハーサル状態 (Realtime Recording ウィンドウあり)



リハーサル状態

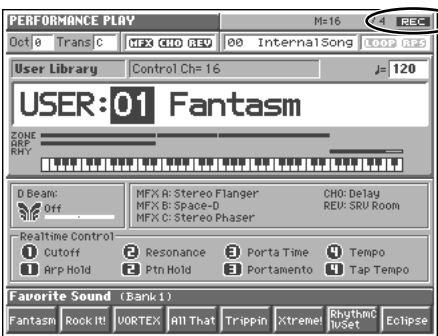
[8 (Rehears)] を押す

[8 (Record)] を押す

[REC] を押す

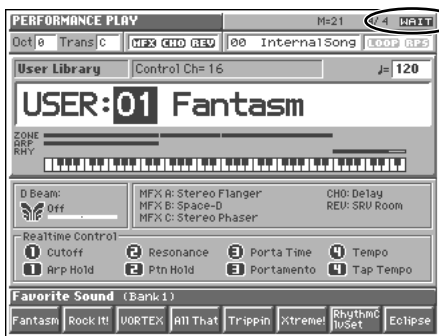
[REC] を押す

録音状態 (Realtime Recording ウィンドウなし)



録音状態

リハーサル状態 (Realtime Recording ウィンドウなし)



リハーサル状態

[SHIFT] を押しながら [REC] を押す